



貧困博物館

～格差を超えて、未来をつくる～

企画展示「貧困博物館」&ノンフィクション作家 石井光太氏 講演・トークイベント

日時 2019年11月16日(土) 13:30～19:30

定員
80名

会場

コミュニティスペース「ハッシュユタグ」

ランチ岡山北長瀬(岡山市北区北長瀬表町2-17-80、JR北長瀬駅から徒歩3分)

—世界には7億人以上もの貧困者が1日1.9ドル(約200円)未満で暮らしている
—日本人の7人に1人が貧困にある。ひとり親世帯では、2世帯に1世帯が貧困だ

ノンフィクション作家・石井光太氏と、アジア・アフリカ・中南米で貧困軽減に取り組むAMDA-MINDSの鈴木俊介(理事長)、山田留美子(ホンジュラス・グアテマラ事業統括)が、世界・日本各地で見てきた貧困現場の生々しいリアルと、そこから見えた、人生や社会を変える方程式をお伝えするイベントです。

会場内には「貧困博物館」をテーマにしたブースを設け、世界の貧困のリアルを写真と実物でお伝えします。

(本イベントは、岡山ESDプロジェクト参加事業です)



ノンフィクション作家 石井光太



AMDA-MINDS 理事長 鈴木俊介



AMDA-MINDS
ホンジュラス事業統括 山田留美子

世界の元気を育てたい。



主催：特定非営利活動法人AMDA社会開発機構(アムダマインズ)

後援：岡山県、岡山市、岡山ESD推進協議会、JICA中国、SDGsネットワークおかやま



お問い合わせ
お申込み

特定非営利活動法人AMDA社会開発機構(アムダマインズ)

Phone: 086-232-8815

E-mail: info@ml.amda-minds.org



QRコードを読み込み、
Webサイトにアクセス
して下さい。

A portrait of Shiiwa Mitsuhito, a bald man with glasses, smiling. He is wearing a light-colored blazer over a striped shirt. The background is a blurred outdoor setting with green foliage.

「本当の貧困の話をしてしよう」

ノンフィクション作家

石井光太氏 講演・トークイベント

【石井光太(いしいこうた)氏プロフィール】

ノンフィクション作家。「虐待された少年はなぜ、事件を起こしたのか」(平凡社)、「漂流児童」(潮出版社)、「世界『比較貧困学』入門」(PHP研究所)など、世界・日本の社会問題に深く切り込んだ著書多数。「世界の産声に耳を澄ます」(朝日新聞出版)にて、AMDA-MINDSがホンジュラスの山村で取り組んだ「妊婦の家」取材。ノンフィクションのほか、小説、児童書、エッセイ、漫画原作など幅広く活躍中。2019年9月に新刊「本当の貧困の話をしてしよう」(文藝春秋)を上梓。

貧困博物館 ～格差を超えて、未来をつくる～

【日時】2019年11月16日(土) 13:30～ 19:30

企画展示 貧困博物館(無料、出入自由) 13:30～15:00

第1部 講演・トークイベント(定員:80名、入場料:一般1,000円、大学生以下無料)
15:00～16:00 石井光太講演「本当の貧困の話をしてしよう」
16:10～17:00 石井光太×AMDA-MINDS トークイベント「未来を変える方程式」
鈴木俊介 AMDA-MINDS理事長
山田留美子 AMDA-MINDSホンジュラス・グアテマラ事業統括

第2部 懇親会(定員:30名、有料) 17:30～19:30

※懇親会の間も会場内で「貧困博物館」の展示を自由にご覧いただけます。

貧困博物館

2006年にノーベル平和賞を受賞したムハマド・ユヌス氏が、「2030年までに貧困のない世界を作り貧困は博物館でしか見られないものにする」と話しました。

同じく、石井光太氏とAMDA-MINDSも世界の貧困削減に取り組んでいます。貧困の中での暮らしがどういうものなのか、教科書や遊び道具、生活用品、現地の写真などでお伝えします。目で見て、手で触れて、少しでも世界の貧困に目を向けるきっかけにしていだけたらと思います。貧困を博物館の展示物にすることを願い、本イベントを開催します。